

福島県がん教育推進事業がん教育研究推進校

実践研究のまとめ

<p>学校名</p>	<p>福島県立福島明成高等学校</p>																																																							
<p>研究テーマ</p>	<p>「学校全体で取り組む思いやりがん教育ーがんを学び、がん患者との共生を目指す part1・part2ー」 がんが身近な病気であることや、がんの予防、早期発見・検診等について関心を持ち、正しい知識を身に付け、適切に対処できる実践力を育成する。また、本校には、がんの治療をしながら学校生活を送っている生徒が複数在籍していたことから、がんと向き合う人々の生き方を通じて、自他の健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする。</p>																																																							
<p>研究計画</p>	<p>< 1年次 ></p> <table border="1" data-bbox="389 701 1377 1440"> <thead> <tr> <th>実施時期</th> <th>対象</th> <th>内容等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月初旬</td> <td>プロジェクト委員</td> <td>テーマ・具体的内容の検討</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>教職員</td> <td>がん教育のための教職員研修会 「がん教育の考え方・進め方」</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>全学年生徒 保護者</td> <td>事前アンケートの実施 保護者への文書発送</td> </tr> <tr> <td>9月16日</td> <td>1学年 2年5組 教職員</td> <td>がん教育講話 「がんについて基礎知識」 教職員ミーティング 「学がん患者への対応について」</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>保健美化委員、有志</td> <td>小児がん募金活動 第1回「レモネードスタンド募金活動」</td> </tr> <tr> <td>10月21日</td> <td>1年5組 推進委員、 各学校参観者</td> <td>研究授業 全体会 研究協議</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>保健美化委員、有志</td> <td>小児がん募金活動 第2回「レモネードスタンド募金活動」</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>全学年</td> <td>事後アンケートの実施</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>プロジェクト委員</td> <td>まとめ・実施報告書作成</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 2年次 ></p> <table border="1" data-bbox="389 1487 1361 2020"> <thead> <tr> <th>実施時期</th> <th>対象</th> <th>内容等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月</td> <td>プロジェクト委員</td> <td>2年目のがん教育推進計画検討</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>保健美化委員、有志</td> <td>小児がん募金活動 第1回レモネードスタンド開催</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>1学年、1学年 保護者</td> <td>事前アンケートの実施 保護者への文書発送</td> </tr> <tr> <td>9月14日</td> <td>1学年 教職員</td> <td>専門医による講演会 「がんについての基礎知識」</td> </tr> <tr> <td>10月21日</td> <td>1年5組 推進委員 外部参観者</td> <td>研究授業公開「がんを学び、がん患者との共生について考える」</td> </tr> <tr> <td>11月13日</td> <td>保健美化委員</td> <td>第2回レモネードスタンド開催（文化祭）</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>プロジェクト委員</td> <td>まとめ・実施報告書作成</td> </tr> </tbody> </table>		実施時期	対象	内容等	4月初旬	プロジェクト委員	テーマ・具体的内容の検討	8月	教職員	がん教育のための教職員研修会 「がん教育の考え方・進め方」	9月	全学年生徒 保護者	事前アンケートの実施 保護者への文書発送	9月16日	1学年 2年5組 教職員	がん教育講話 「がんについて基礎知識」 教職員ミーティング 「学がん患者への対応について」	9月	保健美化委員、有志	小児がん募金活動 第1回「レモネードスタンド募金活動」	10月21日	1年5組 推進委員、 各学校参観者	研究授業 全体会 研究協議	11月	保健美化委員、有志	小児がん募金活動 第2回「レモネードスタンド募金活動」	12月	全学年	事後アンケートの実施	1月	プロジェクト委員	まとめ・実施報告書作成	実施時期	対象	内容等	5月	プロジェクト委員	2年目のがん教育推進計画検討	7月	保健美化委員、有志	小児がん募金活動 第1回レモネードスタンド開催	9月	1学年、1学年 保護者	事前アンケートの実施 保護者への文書発送	9月14日	1学年 教職員	専門医による講演会 「がんについての基礎知識」	10月21日	1年5組 推進委員 外部参観者	研究授業公開「がんを学び、がん患者との共生について考える」	11月13日	保健美化委員	第2回レモネードスタンド開催（文化祭）	2月	プロジェクト委員	まとめ・実施報告書作成
実施時期	対象	内容等																																																						
4月初旬	プロジェクト委員	テーマ・具体的内容の検討																																																						
8月	教職員	がん教育のための教職員研修会 「がん教育の考え方・進め方」																																																						
9月	全学年生徒 保護者	事前アンケートの実施 保護者への文書発送																																																						
9月16日	1学年 2年5組 教職員	がん教育講話 「がんについて基礎知識」 教職員ミーティング 「学がん患者への対応について」																																																						
9月	保健美化委員、有志	小児がん募金活動 第1回「レモネードスタンド募金活動」																																																						
10月21日	1年5組 推進委員、 各学校参観者	研究授業 全体会 研究協議																																																						
11月	保健美化委員、有志	小児がん募金活動 第2回「レモネードスタンド募金活動」																																																						
12月	全学年	事後アンケートの実施																																																						
1月	プロジェクト委員	まとめ・実施報告書作成																																																						
実施時期	対象	内容等																																																						
5月	プロジェクト委員	2年目のがん教育推進計画検討																																																						
7月	保健美化委員、有志	小児がん募金活動 第1回レモネードスタンド開催																																																						
9月	1学年、1学年 保護者	事前アンケートの実施 保護者への文書発送																																																						
9月14日	1学年 教職員	専門医による講演会 「がんについての基礎知識」																																																						
10月21日	1年5組 推進委員 外部参観者	研究授業公開「がんを学び、がん患者との共生について考える」																																																						
11月13日	保健美化委員	第2回レモネードスタンド開催（文化祭）																																																						
2月	プロジェクト委員	まとめ・実施報告書作成																																																						

1年次

実施時期	対象	内容等
4月21日	プロジェクト委員	テーマ・具体的内容の検討
6月18日	プロジェクト委員	実施計画書について検討
6月30日	学校長	第1回がん教育推進委員会
8月26日	教職員	がん教育のための教職員研修会 「がん教育の考え方・進め方」
8月下旬	全学年生徒 保護者	事前アンケートの実施 保護者への文書発送
9月6日	保健美化委員	レモネードスタンド開催について「小児がんの現状」DVD視聴
9月16日	1学年 2年5組 教職員	がん教育講話 「がんについて基礎知識」 教職員ミーティング 「がん患者への対応について」
9月22日	保健美化委員、有志	小児がん募金活動 第1回「レモネードスタンド募金活動」
10月21日	1年5組 推進委員、 各学校参観者	研究授業 LHR「がんとの共生」 全体会 研究協議
11月4日	保健美化委員、有志	小児がん募金活動 第2回「レモネードスタンド募金活動」
12月下旬	2・3学年	保健「がんの基礎知識」 LHR「がんとの共生」
12月下旬	全学年	事後アンケートの実施
1月18日	プロジェクト委員	まとめ・実施報告書作成

実践内容

(1) 研究公開

県北地区各学校参加者、がん教育推進委員の方々に研究授業を参観していただき、全体会で研究協議を行った。

(2) 生徒、保護者、教員への啓発

- ・ 事前・事後アンケートを実施し、保護者へもがん教育に関する文書を出して理解を求めた。
- ・ 外部講師を活用し、教職員対象の「がん教育の進め方」、生徒対象の「がんの基礎知識」に関する講話を実施した。
- ・ 生徒の活動として、レモネードスタンド小児がん募金を実施した。

2年次

実施時期	対象	内容等
6月14日	プロジェクト委員	2年目のがん教育推進計画検討
7月	1学年	保健「がんの基礎知識」
8月29日	保健美化委員、有志	第1回レモネードスタンド開催についての話し合い。「小児がんの現状」DVD視聴
8月30日	保健美化委員、有志	小児がん募金活動 第1回レモネードスタンド開催
9月1日	1学年、 1学年保護者	事前アンケートの実施 保護者への文書発送
9月14日	1学年 教職員	専門医による講演会 「がんについての基礎知識」
10月～	1年1～4組	がん教育講座実施
10月21日	1年5組 推進委員 外部参観者	研究授業公開LHR「がんを学び、がん患者との共生について考える」
11月9日	保健美化委員、有志	第2回レモネードスタンド、公開文化祭における企画展「日本の小児がんの状況について知っていますか」開催についての話し合い。
11月13日	保健美化委員	第2回レモネードスタンド、公開文化祭における企画展「日本の小児がんの状況について知っていますか」を開催
11月30日	保健美化委員代表 教職員	第1回学校保健委員会において、生徒代表が、レモネードスタンド活動について発表
2月14日	3学年 教職員	がん教育講座「がんについての基礎知識とがん患者の理解と共生」
2月初旬	プロジェクト委員	まとめ・実施報告書作成

(1) 事前アンケート 9月1日

生徒に対するアンケート：1学年

保護者に対するがん教育開催に関する文書の発送：1学年保護者

生徒は、1学期に保健の授業において「がんの基礎知識」について学んでいるため、がん教育に対する関心は高い値がでていいる。しかし、がんについての知識については不正確であったり、実際に身近にがん患者がいたらどのように接したらよいか分からなかったり、といった実態が明らかになった。

保護者あてのアンケートでは、がん教育を開催することに関して、否定的な意見は寄せられなかった。ただ、1件「がん教育に“思いやり”がついていることに違和感があります」、という意見が寄せられた。この件に関しては、本校にがんの治療をしながら学校生活を送っていた生徒が在籍しており、がん患者との思いやりを持った共生生活が必要不可欠であった、という本校ならではの事情を保護者に説明をした。このように、保護者と学校とで意見を交換し合いながら実施することも重要なことであると感じた。

(2) 外部講師活用事業 9月14日

福島医科大学小児腫瘍科：大原喜裕医師による講演会（1学年・教職員）
医師による専門的な講義は、多くの生徒の興味関心を引き、生徒は熱心に聴講していた。特に、講師自身ががん患者であったこと、本校生徒の主治医であったことが、説得力を増し、生徒達にとってより関心の深いところとなった。

外部講師は、どなたも説得力があると思われるが、受講する生徒の状況や実態にあった講師選定・発表内容の依頼が重要な点であると思われる。

(3) 研究授業公開 10月21日

全県下より、学校関係者をはじめ保健師・看護師、保健福祉行政担当者などの方々に研究授業を参観していただいた。参観後のアンケートでは、身近ながん患者の例を取り上げていたことが、授業を受けていた生徒たちにとって、とても効果的であった、感動的な授業であった、という感想がほとんどであった。

しかしながら、昨年度と違い、がん治療をしながら学校生活を送っていた生徒の一人が、残念ながら亡くなったという現実を、どのように取り上げていくべきか。取り上げてよいのか。講座の内容を、その生徒のご家族はどのように受け止めてくれるのか、といった多くの葛藤があった。この葛藤に関しては、保護者と話し合いを重ね、実際に作成した教材を持参して、お子さんに関係する部分について保護者（ご家族）のご意見をいただき、手直しをしながら教材化し、最終的に保護者の了解を得ることで解消していった。

保護者との話し合いは、どうしても感情が高まってしまい、作成した教材が道徳教育的な内容に寄ってしまい、当初の目的から外れてしまいがちであったが、授業公開前に参観して頂いた県指導主事からのご指導で、目的に沿った内容に変更することができた。第三者の意見を取り入れ、内容を客観的視点で見直すことも重要であった。

今回削除した、亡くなった生徒の生前の頑張った姿は、1か月後の公開文化祭で、小児がん支援のための活動：レモネードスタンドの会場内で、「がんと闘いながら頑張っている本校生徒を紹介します」のコーナーで多くの人に知っていただくようにした。このコーナーの内容も、保護者に見てもらい、了解を得ての実施であった。

(4) 生徒、保護者、教員への啓発

事前・事後アンケートを実施し、保護者へもがん教育に関する文書を出して理解を求めた。生徒の活動として、レモネードスタンド小児がん募金活動を実施した。

【成果】

○教職員のがん教育に対する理解と共有

外部講師の講義を教職員全体で受けることにより、がん教育の目標や取り組み方を理解し共有することができた。

○がんの基礎知識の理解

外部講師活用による講話や文部科学省補助教材スライドを利用した授業を通して、がんに対する正しい知識を身につけさせる取り組みができた。

○がんと共生

本校の在校生に小児がんを患い治療をしながら学校生活を送った生徒が2名いることから、がん患者との共生はかなり身近なこととしてとらえることができた。公開授業においても、がんと共生を主としてすすめ、がん患者の思いやがん患者と共に生きる社会、さらに命の大切さについて考えさせることができた。

○生徒の活動としてのがん教育

レモネードスタンド小児がん募金を実施することにより、がんへの理解を深め、がん研究やがん患者の支援について啓蒙活動をすることができた。生徒が主体的に活動し協力する姿が見られた。また、学校保健委員会でがん教育の取り組みについて発表したり、保健だよりの中でアンケート結果を示したりするなど、生徒や保護者に対して情報発信することができた。

【課題】

○学校教育の中での位置づけ

外部講師の活用には、事前打ち合わせ等の時間がかかるため、内容等も含めて健康教育として年間計画の中での位置づけておかなければならない。

○がん患者への配慮

事前アンケートでがん教育についての保護者・生徒の意見を集めるなどしたが、さまざまなケースが考えられ、今後も丁寧な対応が必要であると考えられる。また、日頃から生徒、保護者との連携を密にして、コミュニケーションを取り、相互の信頼関係を築いておくことが重要であると感じた。

○教育現場と臨床の違い

外部講師の活用を行う中で、がん教育として行う立場と、臨床の立場とはがんに対するとらえ方もかなり違うと感じた。